

# 地震に備えましょう！

## 知っていますか？家具転対策

令和5年5月5日（金）14時42分ころに石川県能登地方を震源とするマグニチュード6.5の地震が発生し、石川県珠洲市で震度6強を観測しました。その後も石川県では震度5強や震度4の地震が相次いで発生しています。

また、令和5年5月11日（木）4時16分頃には千葉県南部を震源とするマグニチュード5.2の地震が発生し、木更津市で震度5強、君津市で震度5弱を観測しました。東京都や神奈川県でも所々で震度4を観測しています。

この地震で緊急地震速報が発表されました。

いつ発生するかわからない地震に日頃から備えることが大切です。

地震が起きたときは、何よりも自分の命を守ること、そしてけがをしないことが大切です。緊急地震速報を受けたり、地震の揺れを感じたら、まず身の安全を最優先に行動しましょう。



火の始末は揺れが収まってから行いましょう。現在の都市ガスやプロパンガスは、震度5程度の揺れを感じると自動的にガスの供給を遮断するよう設定されています。

また、石油ストーブなどにも耐震自動消火装置を備えたものが普及しており、使用中の火気器具からの出火の危険性は低くなっています。万が一出火した場合でも、落ちついて対応すれば、揺れが収まってからでも十分消火することができます。

激しい揺れの中で慌てて火を消そうとすると、転倒したり鍋のお湯をかぶったりなど、けがをする可能性があります。その後の避難や隣近所で協力して行う救出・救護活動などの重要な行動に速やかに移行できなくなります。

東京消防庁が実施した近年の地震被害調査では、負傷者の3～5割の方々が、屋内における家具類の転倒・落下・移動によって負傷していました。ケガだけでなく、火災や避難障害など、地震による家具類の転倒等は、そのほかにも多くの危険をもたらします。

家具転対策の必要性や方法を学んで、あなたや大切な人を守るために「[家具転対策](#)」を実施しましょう！

